

平成29年10月20日
国立大学法人 千葉大学

“最善の生を生きる支援” エンドオブライフケア教育研究拠点のビジョンを考える ～11/11(月)第3回エンドオブライフケア国際シンポジウム開催～

千葉大学大学院看護学研究科は、11月11日（土）千葉大学亥鼻キャンパス 看護・医薬系総合研究棟（中棟）2階 講義・実習室にて、**第3回エンドオブライフケア国際シンポジウム**を開催します。

■エンドオブライフケアとは

診断名、健康状態、年齢に関わらず、差し迫った死、あるいはいつかは来る死について考える人が、生が終わる時まで最善の生を生きることができるよう支援すること。

地域社会でエンドオブライフケアを推進していくためには、病気としてではなく、自分の生の一部としてエンドオブライフについて考え、周囲の人、大切な人と語り合う文化を創り出すことが重要です。老いや病いを抱えながら地域社会で生活し続ける人々の暮らし方、家族との関係性や生や死に関する価値観、社会規範や文化とも関連した、新たな生き方の探求であり、新たな医療提供の在り方の創造とも言えます。

■シンポジウムのテーマ「エンドオブライフケア教育研究拠点のビジョン」

千葉大学ではこれまで、エンドオブライフケア教育研究拠点プロジェクトにおいて、生活と医療を統合した観点での研究発信、市民の方と協働で創り上げるプログラム開発などを行ってきました。本シンポジウムでは、英国において実際にエンドオブライフケア教育研究拠点を展開している看護学研究者を招聘し、千葉大学におけるエンドオブライフケア教育研究拠点構想を踏まえたディスカッションを通して、エンドオブライフケア教育研究拠点のビジョンを明確にすることを目的としています。（日英逐次通訳付）

■シンポジウムの概要

【日時】11月11日(土)13:00～17:00

【場所】千葉大学亥鼻キャンパス

看護・医薬系総合研究棟（中棟）2階 講義・実習室

【定員】100名（先着順）

【参加費】無料

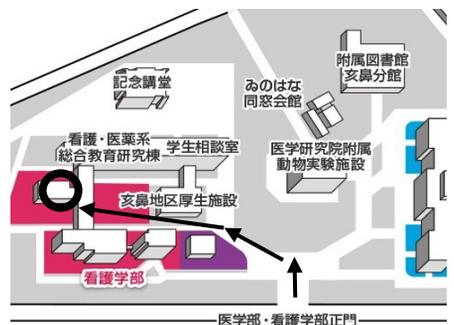
【申込】11月1日（水）締切

氏名、所属、連絡先（メール アドレス）を記載の上、
以下アドレス宛メールにてお申込みください

eolc-office@umin.ac.jp

※詳しいプログラム内容は別添チラシをご覧ください。

▼亥鼻キャンパス構内図



JR千葉駅、京成千葉駅到着後、JR千葉駅東口 正面7番のバス乗り場から「千葉大学病院」行きまたは「南矢作」行きバスに乗り、「千葉大医学部入口」で下車。約15分。

第3回 エンド・オブ・ライフケア国際シンポジウム エンドオブライフケア教育研究拠点のビジョン

2017年11月11日(土)13:00~17:00 (12:30 受付開始)

逐次通訳あり

■会場 千葉大学亥鼻キャンパス 看護・医薬系総合研究棟(中棟)2階 講義・実習室
千葉市中央区亥鼻1-8-1

フロア案内:<http://www.n.chiba-u.jp/others/access/floor.html>

■参加費 無料

■申し込み 下記メールアドレス宛に11月1日(水)までにお申し込みください。

eolc-office@umin.ac.jp (GP-EOLC事務局)

※件名を「参加申し込み」とし、氏名、所属、連絡先(メールアドレス)を記載してください。

■プログラム

- 13:00 開会挨拶
徳久 剛史 (千葉大学 学長)
中村 伸枝 (千葉大学大学院看護学研究科長)
- 13:10 英国EOLC教育研究拠点の実際と展望
Sheila Payne (Lancaster University
the International Observatory on End of Life Care 教授)
- 14:40 休憩
- 14:50 千葉大学EOLC教育研究拠点構想(1)-教育基盤となる専門職連携教育センターの活動-
井出 成美 (千葉大学大学院看護学研究科 附属専門職連携教育研究センター
特任准教授)
- 15:35 千葉大学EOLC教育研究拠点構想(2)-EOLC教育の展望-
石橋 みゆき (千葉大学大学院看護学研究科 准教授)
- 16:25 全員登壇によるディスカッション, 質疑応答
- 16:55 閉会挨拶
増島 麻里子 (千葉大学大学院看護学研究科 准教授・プロジェクト推進責任者)